



～岡山県内のGISを用いた農地傾斜測定の実例について紹介します～

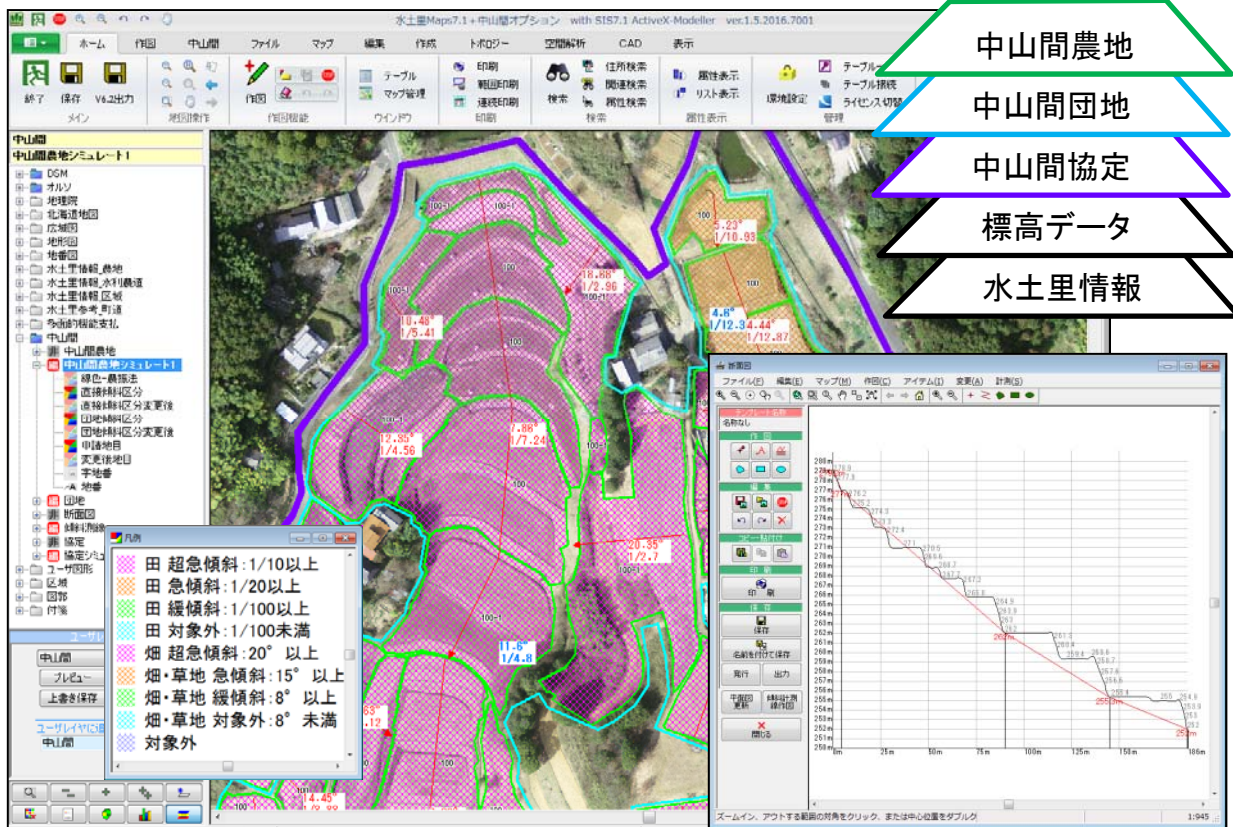
(1/2)

今回紹介する団体：岡山県内9市町村、水土里ネット岡山

### 取組概要

内容： 水土里情報を活用して、中山間地域の協定・団地・農地情報を整備。

農地の主傾斜を測定し、団地単位で傾斜度の面積加重平均・傾斜区分判定を行い、中山間地域等直接支払に必要な図面や帳票を作成。



(傾斜測定画面)

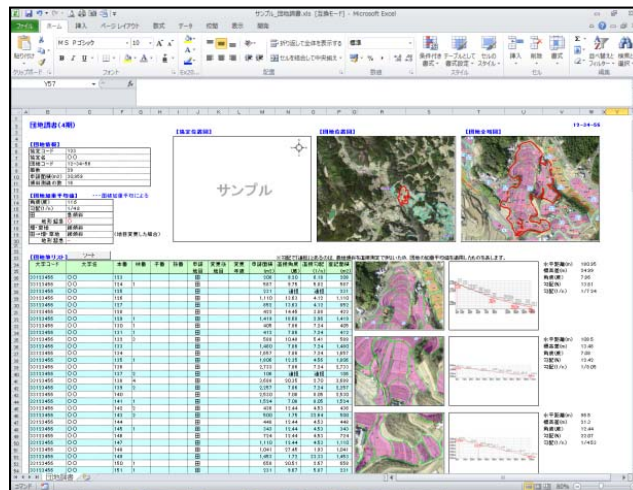
(断面図 1:5表示)

- 経緯：① 中山間地域等直接支払第1期において岡山県内全域を対象に、GISを用いて団地単位で農地の主傾斜を測定。
- ② 第3期では、傾斜測定の意向のあった市町村について、団地・農地筆単位で傾斜測定を実施。水土里情報を活用し、標高データは50cmメッシュDSMを使用。
- ③ 第4期では、急傾斜団地について超急傾斜となり得るか否かの測定(傾斜区分判定)を実施し、対策期間中における地目変更対応に活用。

## 期待される効果

- ・ 農地特定～傾斜区分判定、帳票出力を1つのシステムで行うことが可能
- ・ 傾斜区分判定の根拠資料が蓄積される
- ・ 新規協定策定時にシミュレーションを行うことが可能
- ・ 他の事業と共に管理することが可能

中山間にかかる日常業務の効率化をはじめ、市町村の農業農村整備全般を共通のGISである「水土里情報システム」に集約・共有することで、集落・協定単位での縦断的かつ柔軟な計画策定に活用することが可能。



(断面図付き団地調査)

## 今後の活用予定

- ・ 耕作者の意向調査等を登録、協定の将来像をシミュレート → 集落戦略
- ・ 荒廃農地調査、多面的機能支払現地確認、中山間現地確認等を1システム複数部署で活用し、市町村内での情報共有を図る
- ・ 現地調査、現地確認において、モバイルを使用することも可能 (オプション)
- ・ 農地属性を任意帳票に出力し、調査資料作成工数の軽減を図る (オプション) 等の提案を実施中 (システム上は対応済み)

## GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : 水土里Maps 7.1 Ver.1.5x + 中山間オプション (32bit/64bit)

GISエンジン : SIS 7.1 ActiveX Manager または ActiveX Modeller (32bit/64bit)

DBエンジン : Excel または Access 2010・2013・2016 (32bit/64bit)

運用形態 : スタンドアローン または ネットワーク (LAN/WAN/LGWAN)、モバイル可

標高 : 50cmメッシュDSM標高 または 国土地理院5mメッシュ標高

## ■お問い合わせ先

岡山県土地改良事業団体連合会 総務部水土里情報課 086-207-2203 (直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)